



弁護士と、裁判官や検察官の仕事はどうちがうの？

法 科大学院を修了して司法試験に合格し、その後の司法修習を終えなければならない点は、裁判官も検察官も弁護士と同じです。

裁判官は、裁判所で仕事をしています。裁判になった事件について、双方の言い分を聞いて判決を言い渡したり、話し合いによる解決をすすめるなど、法律のトラブルを最終的に解決するための重要な役割を果たしています。

検察官は、警察から送致された犯

罪を犯した疑いのある人を取り調べ、裁判所に対して刑罰を科すことを求める（**起訴**といいます）仕事をしています。このため、法廷では、被告人の弁護をする弁護人とは激しく対立することもあります。

→ のように、裁判官と検察官の仕事は裁判に密接に関係していますが、弁護士は、「基本的人権を擁護し、社会正義を実現する」ため、裁判に限られない広い分野で仕事をする職業といえるでしょう。

こんなところには
かりがある！



ひまわりに
なってるんだ



[ミニ解説]

弁護士の バッジ

弁 護士が胸につけているバッジがあります。

このバッジは、外側にひまわり、中央にはかりがデザインされています。ひまわりは自由と正義を、はかりは公正と平等を追い求めることを表しています。



《拡大図》